

かすみがうら市・石岡市・小美玉市

# 広報 国道6号バイパス

2017年4月1日号 発行/国道6号バイパス建設促進期成会 事務局/石岡市都市建設部都市計画課



▲国土交通省大臣室にて石井大臣と(右から4番目)



▲関東地方整備局にて村山道路部長(左側)

## 「一般国道6号千代田石岡バイパス・美野里バイパス整備促進要望書」を提出しました

国道6号バイパス建設促進期成会では、平成28年8月2日に国土交通省や関東地方整備局、財務省などの関係機関や、地元選出の国会議員に対して要望書を提出し、かすみがうら市市川から石岡市東大橋までの整備促進及び残区間の早期事業化の決定、美野里バイパスの早期都市計画決定、さらに当事業における事業費の確保についての要望活動を行いました。

当期成会の今泉文彦会長(石岡市長)は、各省市等の対応者に対し、石岡市周辺部における国道6号の慢性的な交通渋滞により、地域産業や観光の振興、さらには沿線住民の日常生活にまで大きな支障となっている現状や、地域の安全確保に不安を抱えている状況について説明し、国道6号バイパスが一日も早く完成することを強く要望しました。

また、石井啓二国土交通大臣は、丹羽雄哉衆議院議員・岡田広参議院議員が同席する中「国土交通省としても早く(国道6号バイパスを)整備しなければならぬ」という認識があるので、引き続き地元環境を整えていただきたい。こちらにも引き続き頑張ってください。」との意向を述べられたことにより、今後の事業の進展に大いに弾みがつくものと期待しております。

当期成会では、国道6号千代田石岡バイパスの早期完成を目指して、これからも継続的に要望活動を実施してまいります。

## 国道6号 千代田石岡バイパス完成予想



▲東田中付近 (H28.3月)



▲東田中付近 (完成予想図)

国道6号  
千代田石岡  
バイパスに  
ついて

土浦市から石岡市までの一般国道6号は、日交通量が約3万7千台であり、常磐道千代田石岡IC付近及び石岡市街地では慢性的な交通混雑が発生し、追突や出会頭の事故といった沿道利用を要因とする交通事故が多発しています。

国道6号千代田石岡バイパスの整備により、石岡市内に流入する通過交通を分散させることで、交通渋滞の緩和や安全性の確保、さらには茨城空港へのアクセス時間の向上など、物流機能の強化や地域産業の振興に大きな効果が期待されます。

平成9年3月に都市計画決定、平成16年に工事着工された国道6号千代田石岡バイパスは、少しずつではありますが完成に向けて整備が進められております。当期成会は、今後も積極的に要望活動を行ってまいります。本広報紙をご覧いただいた皆様に、6バイ(通称)について少しでも興味や関心を抱いていただけたら幸いです。

編集  
後記

問合せ先

石岡市都市建設部都市計画課 ☎0299-23-1111  
かすみがうら市土木部都市整備課 ☎029-897-1111  
小美玉市都市建設部幹線道路推進課 ☎0299-48-1111



▲東田中高架橋(上部工完成)

国道6号千代田石岡バイパスは、土浦市中貫から石岡市東大橋までの15.7km区間について都市計画決定がされており、そのうち、かすみがうら市市川から石岡市東大橋までの5.8km区間の事業化により、現在、国土交通省の事業として、昨年度に引き続き道路改良工事が行われています。

工事が進んでいます

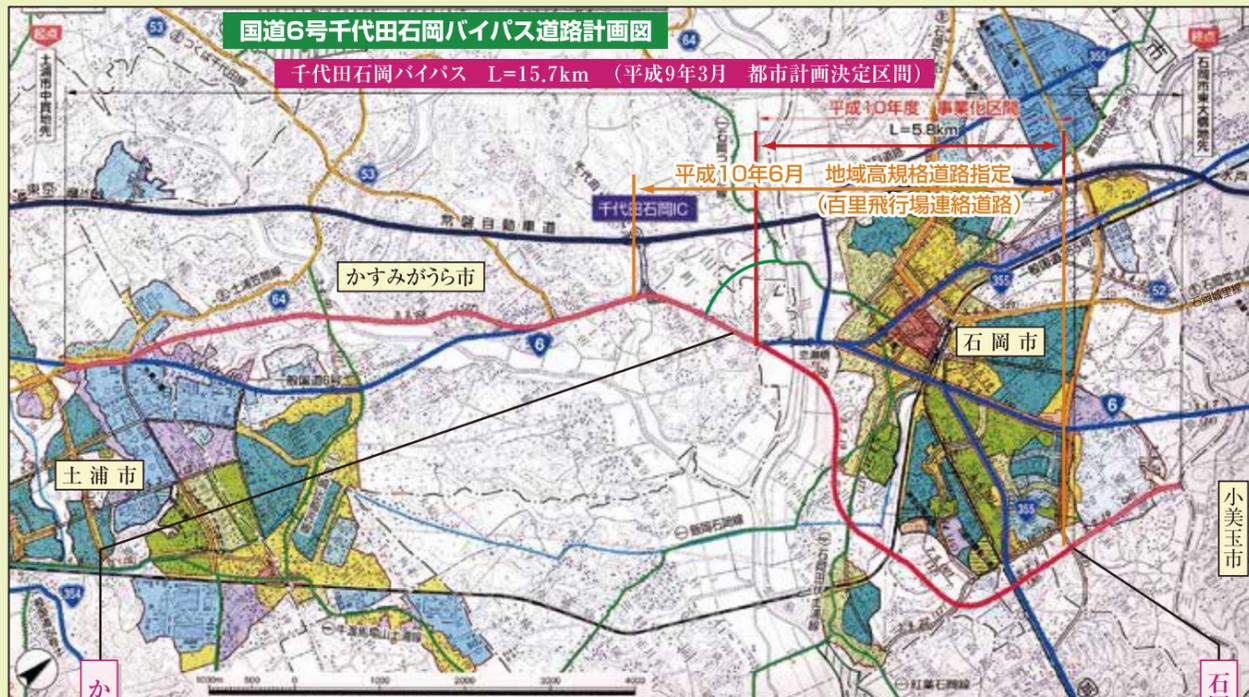
## 埋蔵文化財の発掘調査が実施されました



▲発掘調査現地説明会(東田中遺跡)

### 事業の進捗状況

※用地買収の進捗率は、平成28年3月末現在(面積ベース)のものです。



かすみがうら市市川地区～石岡市東大橋地区  
用地進捗率: 約91%

H28年度  
調査設計  
東田中地区ほか用地買収  
東田中地区改良工事

かすみがうら市市川

石岡市東大橋

国道6号千代田石岡バイパス建設事業に伴い文化財保護法に基づく東田中遺跡の発掘調査が実施されました。平成29年1月22日には、現地説明会が開催され、約130名の来場者がありました。

今回の調査では、縄文時代中期(約4500年前)に木の実などを貯蔵していたと考えられる袋状土杭が380基以上確認され、たくさんの縄文土器の竪穴住居跡からは、発掘調査による出土例としては県内5例目となる小形銅製仏像が出土しました。平安時代の中頃以降では、仏教が庶民にも広がっていたことを物語っています。

▲発掘調査終了後(石岡市 東田中)